

# 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正版

## 評価細目の第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念及び基本方針は、法人や保育所で取り扱う文書内、ホームページ、パンフレット、重要事項説明書に記載され、園内外への周知が図られている。管理者と職員は、会議やケースカンファレンス、ワールドカフェ（リラックスした雰囲気の中で、自由参加で意見交換する場）を活用し、理念、基本方針の実践を振り返っている。保護者には、入園説明会・進級時、行事の折の説明と保育・教育施設向けの業務支援ツール ICT を活用し、理解を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>ホームページ、パンフレット、重要事項説明書に記載されている表現及び内容が若干異なっており、統一することで、広報効果が高まると思われる。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業全体の動向については、月刊誌「ぜんほきょう」「保育の友」や園長研修、その他の研修を通して把握している。保育関係の研修や市・園長会議などから、保育園経営に関する情報の収集に努めている。法人が運営する他の2園と共に保育のニーズや課題を検討している。毎月、税理士事務所の税理士も参加して行われる収支報告及び分析会と法人の各管理者により構成される会議で経営についての分析及び対応策を検討している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人の経営会議において、職員の意見を集約した園の課題を提示し、解決策に対する予算を提案し検討している。検討された内容については、園の職員会議での報告と法人の会議議事録の回覧を行い職員に周知している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

#### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p>良い点／工夫されている点： 中・長期計画については、今年度より開始している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 今後、理念を実現するために、中・長期に達成したい目標（ビジョン）を明確にし、具体的な計画を策定されることを期待したい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p>良い点／工夫されている点： 年度末に行った事業の振り返りを基に、単年度計画が立案されている。中・長期計画については、今年度より開始している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 中・長期に達成したい目標（ビジョン）と、その目標に到達するまでの各年度の単年度目標を明確にし、具体的な計画を策定されることを期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 職員会議等で得られた職員の意見を反映し、全体的な事業計画、保健年間計画、食育年間計画など単年度計画が策定されている。子どもの状況、子どもと保護者・地域のニーズ等の課題を事業計画に反映させ、理事会に「近年始めた取り組み・新しく行う取り組み」として、障害保育、遊び、園内研修における ICT を活用したドキュメンテーションの試み、おもちゃ広場、食育とアレルギー児対策、職員研修についての計画が挙げられており、職員はそれを基に日々の保育に励んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 中・長期及び単年度目標には具体的な数値や項目など評価基準を明記し、年度末の分析を客観的に行い、次年度計画が策定されることを期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 保護者に対しては、入園説明会、全体の園だより、各年齢のクラスだより及び ICT の活用により行事計画や保育の状況をきめ細やかに情報提供し、周知・理解を得ている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 中・長期計画の目標（ビジョン）を保護者と職員が共有し、保護者の参加及び連携を促されることを期待したい。</p>		

#### I-4 保育の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a

<p>良い点／工夫されている点： 会議やケースカンファレンス、ワールドカフェを活用し、管理者と職員は、日々の保育を振り返り、理念や基本方針に基づいた保育の質の維持・向上に努めている。職員が自己評価表及び職業能力証明シートを記載し、園長との面談で保育の振り返りを行う仕組みが整っている。職員は、目標管理カードに前期・後期目標と具体的な成果や問題点及び反省点、業務内容の希望等を記述し、保育の質の向上とキャリアデザインを考えている。園長は、法人へ報告し、個々の職員の状況に応じて次の目標に向かって前進できるようサポートしている。</p>			
<p>改善できる点／改善方法：</p>			
9	I-4-(1)-②	<p>評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点： 園長は、年度末に各種職員評価表と職員会議において振り返った園の課題を、法人の会議において報告・検討している。検討内容を活かし次年度計画の策定を行っている。</p>			
<p>改善できる点／改善方法： 今後、中・長期計画を立案し課題の対応策の実践に努められることを期待したい。</p>			

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	Ⅱ-1-(1)-①	<p>施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点： 職員別の業務分掌は作成され、各職員に示されている。</p>			
<p>改善できる点／改善方法： 職務分掌表により園長の役割と責務について明記し、職員個々の業務ではなく、職務としての役割理解を図られることを期待したい。</p>			
11	Ⅱ-1-(1)-②	<p>遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点： 園長は、園外研修への参加や関連書籍等で、遵守すべき法令についての理解に努めている。法令遵守に係る内容は、職員会議等で職員へ周知や理解を促している。</p>			
<p>改善できる点／改善方法：</p>			
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	Ⅱ-1-(2)-①	<p>保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点： 園長は、常に園内外の子どもや保護者、職員の様子を見守り、見出された問題点や課題を職員会議や法人の会議等で検討し、迅速な解決及び改善に努めている。園周囲道路への横断歩道や標識の設置に向けて関係機関と連携を取り、安全安心な保育環境の整備に尽力している。働きやすい職場環境の整備や園内外の研修の受講と学びを共有す</p>			

る機会の提供に尽力している。また各職員の得意分野を発揮した保育を尊重し信頼して任せ、職員の意欲と質の向上に向けた指導をしている。

改善できる点／改善方法：

13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：  
 職員の意見や要望や法人系列の2園と検討した課題を年度末に振り返り次年度計画に反映している。法人の施設長会議及び理事会で経営状況・課題改善方法、予算等について検討している。検討された内容は、職員会議で報告及び話し合い、共通意識を持って従事できるよう働きかけている。保育士同士や保護者との連絡をスムーズに行うことができる ICT を導入し、リアルタイムで情報の共有と事務作業の効率化を図り、業務の実効性を高めている。

改善できる点／改善方法：

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
--	---------

Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：  
 就職セミナー・企業説明会は園長が行っていたが、職員の教育と人材確保の効果をねらい数年前より保育士が担当するようにしている。タブレットで具体的な保育の現場や保育士の活動場面を紹介し、人材の確保に効果を発揮している。改訂された保育指針に対応できる保育士資格及び幼稚園教諭免許を取得している人材を確保している。保育士や子育て支援員などの人材確保と ICT の導入などにより、結婚や子育てなどライフサイクルにおけるイベントに対しても働きやすいサポートができ職員の定着につながっている。

改善できる点／改善方法：

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
----	----------------------------	---

良い点／工夫されている点：  
 年2回職員が、自己評価表と職種・職位別に評価する職業能力証明を記述し、園長と共に面談により振り返りを行うことで、職員の人事考課と教育に活用している。面談では、個別の能力に応じた具体的アドバイスと悩みや課題について相談を行い、共にキャリアデザイン（仕事を含む人生全体の計画）、キャリアパス（仕事の目標）、キャリアプラン（仕事の目標）、キャリアアップ（役職やスキルアップ）について話し合い、ワーク・ライフ・バランスを考慮した、働き方を職員と共に考えている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：  
 職員の有給休暇、振替休暇、超過勤務時間、就業状況をデータ化し、職員の希望に添って取得できるよう配慮し、育児休暇や子育てとの両立のために時短勤務等取り入れ、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境を整備している。ノーコンタクトタイムを確保することにより、保育士の記録や保護者等への連絡など事務作業の効率化、保育士同士の情報交換の活性化など働き方が改善され、保育の質の向上にもつながっている。園長や主任、職

員間で相談しやすい雰囲気と体制がある。職員休憩室を整備し、休憩時間の確保と子育て支援員を導入することにより、保育士が保育に専念できるようにし、子育て支援員が保育室の環境整備や見守り等保育士の補助を担っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
----	-----------------------------------	---

良い点／工夫されている点：  
 目標管理カードを活用した園長面接時に、職位に一人一人の進捗状況を確認し、研修や資格の取得、働き方などについてアドバイスしている。保育士関係の県、民間、大学などの各種研修を紹介し、職員が主体的に取組み、自己研鑽できるようサポートしている。研修参加後できない場合は、園内の伝達会の参加を促し育成に努めている。

改善できる点／改善方法：

18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
----	---	---

良い点／工夫されている点：  
 年度初めに県保育研究協議会、県保育士等キャリアアップ研修、県保育士研究発表会、民間保育園・認定子ども園連盟、県社協、企業、大学等が主催する研修会への参加と園内研修の年間研修計画一覧を職員に回覧し、希望をきき受講申請をしている。その他園長や職員がサーチしてきた学会、大学、民間企業等で企画された外部研修や講義などにも参加できるようサポートしている。職員が受講後に伝達講習を行い知識や技術を共有し、保育や運営に役立てている。時短勤務の職員には、小グループによる報告会と資料の回覧し全職員が学びを共有できるよう工夫している。

改善できる点／改善方法：  
 研修については、単発で提示するのではなく園の理念・基本方針に基づいた期待する職員増を提示するとともに、先を見通しながら計画的、継続性をもって研修に参加できるよう、職位別経験年数別の研修計画一覧表を提示し、中・長期の計画を持って職員研修が受けられるよう進めると良い。

19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
----	-------------------------------------	---

良い点／工夫されている点：  
 職員に年間の研修情報を提示し、新任職員をはじめ中堅以上の職員も、各職員の経験年数や習熟度に応じた研修等を受講できる体制にある。そのために職員が、平等に研修等に参加できるよう勤務や休暇の調整を行い積極的に職員に受講を勧めている。

改善できる点／改善方法：  
 職員自身が先を見通して、具体的な目標と計画を立てやすくするために、階層別研修やテーマ別研修等の一覧表の提示があると良い。

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
----	---	---

良い点／工夫されている点：  
 各保育士養成校の実習マニュアルに沿って実習指導を行っている。職員は、実習学生の指導を通し、改めて自らの保育について振り返ることができるため人材育成にもつながっている。

改善できる点／改善方法：  
 園としての学生指導マニュアルを作成し、園の理念や基本方針及びビジョンを伝えながら、指導を行われることを期待した。

--

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページ、パンフレットを活用し情報の開示に努めている。保護者に対しては、園発行の全体及びクラス別のたより及び ICT を活用しドキュメンテーションに力を入れ、子どもの成長の姿を丁寧に、分かりやすくメールやブログで情報提示し理解を得ている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>今年度から行われた第三者評価の継続受審に期待したい。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各職員の果たすべき役割の詳細が示された業務分掌は、提示されている。施設運営のための財務管理においては税理士と共に毎月会議を開催し検討している。法人の財務状況については、福祉情報サイトワムネット上に開示されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>コロナ禍で地域との交流には制限があるが、町社会福祉協議会との連携で地域交流に努めている。園外保育で子どもたちが積極的に地域の人と挨拶を交わしたり、地域にある田んぼで稲刈りを体験し、玄米を精米するために農協へ行ったり、園芸店で花を買ったりと地域の社会資源を活用することで地域交流につなげている。地域の人や保護者から季節の果物や野菜の差し入れがあるなど、自然な形で地域とつながっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>養成校との連携を図りながら、保育士を目指す学生のボランティアを積極的に受け入れ、ボランティアマニュアルがある。また、地域の学校の福祉体験や職場体験も受け入れ、マニュアルで基本姿勢を明示し、活動時の配慮や注意事項等を説明している。求人案内でも、園の雰囲気を感じてもらうためにボランティアを受け付けている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>教育委員会、小学校、町健康推進課、子育て包括支援センター等と連携を図り、地域のネットワークを有効に生かし、よりよい保育を提供している。各種マニュアルの中に関連した関係機関の連絡先を整備しており、それらの連絡先をまとめ、地域の社会資源をリスト化する作業を進めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人が定期的で開催している「子ども食堂」に職員が出向き、地域交流を通して地域ニーズを知る機会になっている。未就園児を対象にした「わくわくデー」を毎月開催し、子育てのニーズを把握している。また、育児相談を毎月第2月曜に開催しており相談者も予定が立てやすい配慮がある。</p>		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>未就園の親子が相互の交流を行う場所に、園内の「ぎふ木育常設広場」を開放し、子育て相談、情報の提供、助言その他の支援を提供し、専門家による育児講座も行っている。地域の緊急避難所に指定されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>児童憲章や保育士倫理綱領を基に、子どもの人権尊重について具体的な保育実践となる「生活の基本」を作成し、全職員が理解している。社会で起きている不適切な事案が報道された時には全職員で園の姿勢を再確認している。管理者は常に「一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添い、指示的な言葉は使わない。あくまでも子どもが主体の保育」を職員に伝え、共有している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a

<p>良い点／工夫されている点：          プライバシー保護に関する規定を整備し、職員研修を実施している。オムツや下着替え時には目隠しの場所を作り、他児から見えない配慮がある。プール遊びや身体測定時にもプライバシー保護に配慮している。ICTを活用した保護者への連絡で配慮が必要な内容は必ずダブルチェックで配信している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>良い点／工夫されている点：          園見学者、入園希望者にはパンフレットや「入園の準備」冊子を提供し、丁寧に説明をしている。ホームページで園の理念、基本方針を掲げ、副理事長や園長が保育姿勢を明示し、在園児の様子がわかる写真等も発信しており、選択の情報源になっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>良い点／工夫されている点：          開始時には入園のしおりや重要事項説明書に基づいて説明し、同意書も受け取っている。子どもの状況や家庭環境の変化で配慮が必要な場合は、行政担当課と連携を図りながら、保護者と面談し意向を尊重し説明している。適宜、園医や子育て包括支援センター等と連携を図り運営している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：          保育園を転籍する時には、転籍先へ在園時のその子の個性がわかる情報等の引き継ぎ書類を送付し、継続性ある保育につなげている。卒園児の保護者がいつでも相談できる窓口がありその事例もある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：          ICTを活用し、日々、保護者に子どもの様子を伝え、保護者とやり取りをしている。また、個別懇談や保護者会で意見や希望を聴取し、その内容は職員会議で共有している。改善が必要なことは先延ばしにせず、職員が主体的に考え、子どもたちにとって最善の工夫を出し合い対応している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：          保護者に定期的な満足度調査を実施していないが、行事後にアンケートを取り、今後の運営に活かせる内容もあり、満足度の上昇を図る取り組みを視野に入れている。また、コロナ禍で行事参加の分散化もあり、保護者から園内の様子がわかりづらいとの声があり、発信方法を検討している。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a



<p>良い点／工夫されている点：          苦情受付担当者、第三者委員を設置した解決プロセスを明示したものを全保護者に配布している。玄関先に意見箱の設置があるが投函はないので、苦情記入カードの配布を検討し、保護者が苦情を出しやすい工夫を考えている。近隣住民から送迎時の駐車についての苦情には保護者へ理解を促している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<p>良い点／工夫されている点：          ICTを活用し、クラス担任が子どもの様子を保護者に報告し、相談や意見に対応している。担任は主任保育士や園長と情報を共有し、必要に応じて保護者への声掛けや話し合いに応じている。相談室はプライバシーに配慮した場所が確保されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p>良い点／工夫されている点：          相談や意見があった時には記録し、その場で対応を難しい内容等は情報収集し、迅速に対応している。発達に関する相談には関係機関と連携を図りながら、保護者の不安を受けとめながら進めている。送迎時には保護者との対話や様子観察に努め、相談につなげている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p>良い点／工夫されている点：          午睡時の様子、食物アレルギー対応など常に安全、安心の確保に努め、それでも起きるヒヤリハットや事故に対して、発生時の状況、要因分析、改善策を記録し、繰り返し職員間で収集事例を振り返り、子どもの安心と安全な保育の意識化を図っている。園庭遊びは3歳児以上と3歳未満児が使う時間を分け、安心安全で自由に遊べる環境に配慮している。また、階段手すりや段の隙間をアクリル板で塞ぎ、落下の危険防止へ改善している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：          登降園時には職員が見守り、園門の前の車道への飛び出しに注意喚起しているが、送迎が重なることも想定し、横断歩道の明示ができるか関係機関と相談し、少しでも危険な箇所へのリスク対応に備えられたい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：          感染症マニュアルを整備し、それに基づいた対応をしている。感染症発生時には保護者へ迅速に連絡し、感染症研修内容や厚労省からの通知を全職員と共有している。コロナ禍で子どもが触れる箇所や窓ガラスなどを毎日丁寧に消毒し、各保育室の窓も開けて換気し、感染予防対策に努めている。法人の看護師や園医との連携を密に行い対応している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的	a

	に行っている。	
<p>良い点／工夫されている点： 災害時の対応体制は入園時に説明し、子ども、保護者との安否確認の手順が明確になっている。防災訓練は毎月定期的を実施し、外へ出ることができない時は紙芝居で災害対応を学ぶなど関係機関と連携体制にある。避難経路図も掲示している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 保育所保育指針に基づいて、保育理念や保育方針を作成し、具体的な保育内容を「生活の基本」として作成し、標準的な実施方法を職員に周知し、職員間の保育水準の差異を極力なくしている。職員はクラス担任でない子どもに対しても顔と名前を覚えており、声掛けも名前呼び、職員間で情報を共有している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 標準的な保育実施の柱があり、そのうえで各クラス担任の得意な事を活かした保育実施を尊重し、子ども主体の柔軟性ある保育を実践している。必要に応じて、各年齢別会議や職員会議で見直している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 入園決定後にアセスメント資料に基づき、全体的な計画を編成し、指導計画を職員間で共有している。3歳未満児や配慮が必要な子どもについての個別指導計画は子どもの身体状況や生活状況、保護者の願い、関係諸機関との連携を明記できる様式に改善し、使い易くなっている。ICTを活用した月案計画の実施内容が週案に反映され、その積み重ねを評価し、次月に反映させている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 年2回、各保育士が保育内容の実施の自己評価を行い、年度毎に園としての保育実施内容の自己評価票を作成し、評価結果を分析し次年度に反映させている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		

44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p>良い点／工夫されている点：          子ども一人ひとりの保育実施状況をICTで管理し、その記録内容はリアルタイムに職員間で共有している。3歳未満児は日々の連絡帳で子どもの様子を詳細に記載している。電子媒体での記録から紙ベースでの管理が必要な情報は記録ファイルとして保管している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>良い点／工夫されている点：          記録ファイルは事務室の保管庫で鍵をかけて管理している。保存、廃棄等適切に行い、記録物の園外持出禁止を職員に周知徹底させている。電子機器の管理は個別パスワードで管理し、ウイルス対策や情報の漏洩に細心の注意を払っている。保護者には発信された情報の取扱いの留意点について説明をしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## 評価対象Ⅳ 保育内容

### Ⅳ-1 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<p>良い点／工夫されている点：          園の保育理念や方針を柱に保育所保育指針に沿って作成した保育の全体的な計画は、「子どもにとってどうか」の視点を常に持ち、すべての子どもの発達過程を踏まえ、園での生活が一貫性・連続性のある保育実践が展開できるものになっている。早朝、延長保育の利用の増加や支援が必要な子どもに考慮した保育を、園長の下、職員の参画で創意工夫して編成している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

### Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p>良い点／工夫されている点：          各保育室には年齢の発達段階に応じたおもちゃやアナログなゲーム、子どもが木のぬくもりを感じられる木製おもちゃも取り入れている。保育室は採光が入り明るく築年数は経つが清潔である。子どもの動線に配慮し、机を移動し遊びコーナーの工夫に努め、畳コーナーもある。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：          まずは担当保育士が子どもの気持ちを傾聴し、やさしく寄り添い、愛着関係が持てるよう配慮し、遊びを通して他の保育士や友たちとの関わりを拡げていける対応を心掛けている。子どもの発達状態や生活環境、生活リズム等を把握し、職員間で情報を共有している。指示、命令の言葉は使わず、子どもの判断を気長に待つ保育を行っている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>家庭環境、生活習慣の違いを考慮し、未満児から着衣の脱着を援助し、年少児には自分でできるようにしている。整理整頓、食後の歯磨き、手洗い、使ったものは元に戻すなど基本的な生活習慣ができるよう無理強いせず自ら育つ力やタイミングにあった言葉をかけ、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園庭には泥んこゾーン、虫が生息する草花ゾーン、築山ゾーンと自然体験ができ、外での活動を充実させている。段ボールを使った遊びや紅葉はっぱやドングリで造形作品に取組み、子どもの主体性と感性を伸ばす保育を展開している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>木のぬくもりを感じられる建物の中で0歳児が身の回りのものに興味や関心が広がる環境を整備している。連絡帳を介して園での様子と家庭での様子を毎日詳細にやり取りし、登降園時の会話を通し保護者との信頼関係をもとに保育を進めている。常に子どもの発育・発達や健康状態を観察し、園医や法人看護師との連携で適切な対応を図っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>良い点、／工夫されている点：</p> <p>乳児保育室と同じ環境の中、子どもの触れる場所を丁寧に消毒し、健康管理に努めている。また、ガラスのコップや左右異なるスプーンを導入し子どもの舌の動きや食べようとする動作を促す保育を実践している。保育士は子ども一人ひとりの自我の育ちを大切に、見守りと出来たことを一緒に喜び、保護者と連絡帳で連携を図り成長を共有している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各年齢の保育指針を基に、子どもの興味、関心に沿った保育環境をめざし、他者に見せるための行事ではなく、子どもたちが自ら「やってみよう」と心や体を動かし遊びを通して成長した姿を見てもらうために保育参観や行事に取り組んでいる。子どもの発達過程に応じて、基本的な生活習慣や決まりを理解して身につける保育実践、友だちと協力して作品を作りあげる、自然と触れ合うなど充実した保育活動を行い、その成長を保護者に発信している。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>障がいのある子どもの特性を考慮し、保護者や関係諸機関と連携を図りながら、専門的な指導や情報を共有し保育を進めている。インクルーシブな保育を目指し、何ができ、できないよりも子どもが居心地よく過ごせる場所作りを整えている。障がいの有無で保育を別けるのではなく、同じ環境で生活することで子ども同士が認め合いいたわる気持ちが自然に育つ保育を実践している。子どもがクールダウンできる場所や保護者の不安な気持ちに寄り添い、個別指導に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>早朝や延長時間利用の子どもたちがゆったり、落ち着ける環境作りに工夫し、おもちゃの配置場所や量、子どもの生活リズムでゆっくりできるコーナー場所を作り、異年齢の子どもが安心して過ごせる保育環境に努めている。男性保育士が延長保育を担当し、楽しい時間の提供に努め、子どもの人数確認、伝達事項など情報共有を怠ることなく取り組んでいる。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ほぼ全員の子どもが同じ校区の小学校に入学予定で、年長組は運動会を見学し、学校まで散歩し学校周辺の様子を見に行っている。園長が小学校運営協議会に参加し、就学を見通したスタートカリキュラム等で小学校と連携を図り、運営会議での話は保護者に文書で報告し、就学の見通しが持てるよう配慮している。入学後も小学校と連絡を密にし、子どもの成長を共有している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

### IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>コロナ感染症対策として、登園時は、玄関先での検温、保育中の検温と視診、手洗い、うがい等の指導を励行し保育室も常に窓を開けて換気と衛生管理に努め、子どもの健康管理に取り組んでいる。コロナの感染状況について保護者には保健だよりで伝えている。3歳未満児の午睡時はICTを活用した見守りチェック表で安全管理が行われている。園医、法人の看護師との連携体制の下、職員間で一人ひとりの健康状態の情報を共有している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>健康診断、歯科健診を年2回定期的に園医により行われている。結果はその都度保護者に報告をしている。歯磨き指導で保護者と子ども双方に虫歯予防への関心を働きかけている。</p>	

改善できる点／改善方法： 保護者に結果を報告するのみでなく、治療実施済みの報告を受けることも検討し、健康管理に活用されたい。	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
良い点／工夫されている点： アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについては、医師の診断書を基に、園長、担任、栄養士でアレルギー除去の食品を確認している。毎月の献立表、成分表を保護者に事前にチェックしてもらい、さらに担任がアレルギー対応マニュアルに沿って食事を提供している。配食時はプレートの色を別にし、子どもの状態に応じて食事場所を別にし、クラスで食べる時には担任の見守りで対応している。毎月の会議や園内研修で全職員に食物アレルギーの対応を周知し、誤食防止の徹底を図っている。	
改善できる点／改善方法：	

#### IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
良い点／工夫されている点： 給食だよりを発行し、行事食や旬の野菜に興味を持てるよう、食材について説明している。自分たちで育てた野菜を給食やおやつに活用し、地域の人から提供された野菜をすぐ給食に出すなど食育につなげている。玄関ホールにその日の給食サンプルを掲示し食への関心につなげている。	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
良い点／工夫されている点： 給食前に保育士が検食を行い、子どもに適切な量、味付け、色彩、加熱状況、異物の混入など点検をしている。給食委託業者の栄養士・調理師と連携を密にし、給食委員会を毎月開催し、より良い給食提供に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

### 評価対象V 子育て支援

#### V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
良い点／工夫されている点： 3歳未満児は個別の連絡帳で園での様子を詳細に記載し、保護者からも家庭での様子や希望等の記載があり、双方で情報交換が密に行われている。3歳以上の子どもはクラスだよりを毎月送付し、ICTを活用したドキュメンテーションで子どもの成長を保護者に発信し、常にメール等でやり取りし家庭との連携を図っている。また、園長、保育士が送迎時に積極的に保護者とのコミュニケーションに努め子どもの様子を伝えている。	
改善できる点／改善方法：	

#### V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 登降園時には、職員が保護者に言葉をかけることを心掛け、保護者との信頼関係を築くよう努めている。子どもの育ちや生活のリズムの乱れを見逃さず、ワンオペ育児等の相談には個別の時間を設定し別室で保護者の悩みを受けとめ少しでも不安を取り除くようにしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 職員は外部研修や、学習会で「虐待防止対応マニュアル」を確認し、子どもの着替えの際に子どもの体に気になる箇所が無いか観察することを職員が意識し、発見した場合は職員間で共有し、行政や関係機関との連携を図り対応している。その時の対応は記録を取り保存している。保護者にも虐待防止の資料を配布している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

## 評価対象VI 保育の質の向上

### VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 職員は年2回、保育実践を振り返る自己評価を行い、園長、主任がその評価に対して、保育実践や専門性を指導し、モチベーションを高めている。職員個々の自己評価を年度毎に行う園としての自己評価につなげている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

## 評価対象VII 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

### VII-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	a
<p>良い点/工夫されている点： 防犯カメラが設置され、門は施錠を含め外部からの侵入を防ぐ対策と不審者侵入の訓練を実施している。日常は事務所から外の様子が見渡せ、緊急通報で不審者の侵入を未然に防ぐよう意識している。通用門は施錠しているが子どもの手の届く位置にあり、見直している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

### VII-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
VII-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	a

<p>良い点／工夫されている点：          日程を決めて保育参観を行う従来の形態を見直し、複数日の中で保護者が都合の良い日に参観できる「オープン保育」にし、父母、祖父母等の参観を呼びかけている。参観日は保護者も一緒に子どもの遊びに参加できるように工夫している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。</p>	<p>b</p>
<p>良い点／工夫されている点：          保護者会は、働く保護者に負担がかからないよう保育園と保護者会役員が連携を図り、全園児が楽しめる内容を企画し取組んでいる。特技のある保護者に、その特技を誕生会やお楽しみ会で披露してもらうなどの協力がある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：          ICTの活用や送迎時のコミュニケーションで保護者個々と十分な連携を図っているが、保護者会組織として保護者同士がつながりを持てる取組を支援し、園と意見交換を行う場ができることを期待したい。</p>	

### Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
<p>Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。</p>	<p>a</p>
<p>良い点／工夫されている点：          町内にあるこども園、保育園、小学校と連携し会議で情報を共有している。今年度からは小規模保育園とも連携を図り、地域に存在する他機関や施設、専門家との連携・ネットワーク化で地域のすべての子どもたちを地域で豊かに育つ環境をめざし取組んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	